

7月1日求人票受け付け開始！！

今週は期末考査期間ですが、これが終わればよいよ7月1日から求人票受付が始まります。3年生は自らの将来をしっかりと考え、進路実現のためにベストを尽くしましょう。また、1・2年生も自分の進路について十分に検討した上で、いろんな可能性を残しておけるようにしましょう。

暑さにも自分に負けず、夢実現に向けて自分のできることをやり遂げましょう！

**就職希望の君へ
企業が求めている人材とは？**



「学校での成績、部活動や生徒会活動なども選考基準のひとつではありますが、最も重視するのはその人の人間性です。当社の規範とする人間性は、『自分の掲げた目標に対して責任を持ち、誇りを持って成し遂げられるかどうか。』いくらコミュニケーションが上手でも、責任感が希薄で協調性に欠けるのでは当社が求める人材ではありません。」

(製造業・採用担当)



「人と接することが全くない仕事というのはありません。ですのでどんな仕事であれ、明るくはきはきした人が望ましいのは言うまでもありません。それがある上で、仕事に役立つ知識や能力がある人はなお良いです。」

(製造業・採用担当)

(「高卒求人.com」から引用)

- (1) コミュニケーション能力のある人
- (2) 基礎学力・社会常識が身に付いている人
- (3) 挨拶や言葉遣いなど、基本的生活習慣がしっかり身に付いている人
- (4) 仕事に対して常に目的意識を持ち、やる気、情熱のある人
- (5) 素直で明るく元気で積極性のある人
- (6) 心身ともに健康で、即戦力になる人



これらは日常的なことに精一杯取り組み、努力する中で身に付くものです。積極的に自分を磨き、自分の中にある良い部分を引き出して堂々とアピールしましょう！

効果的な自己PRはどうすればいいの？

就職活動の中では自己PRが重要です。では、具体的にはどうすればいいのでしょうか？サークル活動を題材にした自己PRの文章で見てみましょう。

添削前の自己PR

私の強みは、周りを巻き込む力があること、そして継続して努力できることです。

部長を務めている水上スキー部では、チームでの優勝を目指し、メンバーのモチベーションを高めるために明確な目標を掲げ、どうしたらもっと練習効率が上がるのか話し合いの場を多く設けました。さらに、私個人でも上位の成績を残すためにスキルの強化が必要だと思い、毎朝4時に起きて全体練習の前に個人練習を1時間行いました。結果的に、当初の目標であった県大会優勝を果たすことができました。持ち前のチャレンジ精神を生かし、貴社で働きたいです。

①【ここがNG!】強みが複数にわたっている。

クラブや部活動を題材にする場合にありがちなNGです。優勝するためのチームでの取組と個人での努力を両方書く人がいますが、アピールすべきことはひとつに絞るのがベターです。また、エピソードが具体的であればあるほど、採用担当者に「うちでこんなふうに活躍してくれそうだな」と想像してもらいやすくなるでしょう。



②【ここがNG!】強みが文章の途中で変わっている。

冒頭で「強みは周りを巻き込む力があること」「継続して努力できること」と言っているのに、文章の最後には「持ち前のチャレンジ精神を生かし～」と、突然強みが変わってしまっています。言葉の重複を避けたいのは分かりますが、ここで挙げられている「周りを巻き込む力」「継続して努力できる」「チャレンジ精神」

はそれぞれ全く別物です。基本的には、はじめに「私の強みは～です。」と端的に述べ、それを裏付けるエピソードを語り、最後にもう一度「このように～な強みを貴社で生かしたい」とまとめるのが分かりやすい書き方です。

添削後の自己PR

私の強みは、周りを巻き込む力があることです。

部長を務めている水上スキー部では、チームでの優勝を目指し、メンバーのモチベーションを高めるために明確な目標を掲げ、どうしたらもっと練習効率が上がるのか話し合いの場を多く設けました。結果的に、当初の目標であった県大会優勝を果たすことができました。貴社の仕事では、困難なことがあっても周りとは協力して乗り越えていきます。

(「Benesseマナビジョン」から引用)

進学希望の君へ

推薦・AO入試に向けた準備

四年制大学・短期大学では、AO・推薦入試等、受験機会が複数あるところがあります。志望校を決めるときの基準にもなるので調べておきましょう。

推薦入試では公募推薦と指定校推薦の違いなどの仕組みをしっかりと把握しておきましょう。また、国公立の大学では推薦の対象課程が工業系のみ絞られることもあります。それほど多くの受験生が出願するわけではないので、可能性は大きくなるはずですが、ただし、推薦条件(成績基準や欠席日数など)がつくことが多いようです。よく確認しましょう。

選考方法は書類審査に加えて、小論文や面接などが中心です。これに対して、AO入試では、基礎学力を問う試験や小論文試験、口頭試問、面接などを重視するため、十分に対策をとることが合格のポイントです。

どの受験方法でも、事前の準備をしっかりとやっておくことが合格への最善の策です。学級担任や教科担当の先生方に相談しながら、この夏を有意義に過ごしましょう。



7月23日(月)～31日(火) 3年進学課外授業前期

8月20日(月)～28日(火) 3年進学課外授業後期

} 国語・数学・英語・物理

8月30日(木) 進学推薦委員会

(国立大学の推薦委員会は7月31日の予定)

8月下旬～ 進学応募書類作成

オープンキャンパスを利用しよう

推薦・AO入試では志望理由、つまり「なぜその大学や短大、専門学校に行きたいのか」が深く問われます。研究・実験施設を見学したり学生から話を聞いたりして手に入れた具体的な内容は、志望理由書や面接の説得力を増すでしょう。また、AO入試では出願条件に「オープンキャンパスへの参加」が挙げられていることもあります。さらに、学校によっては過去の試験問題を基にして小論文の書き方や面接の秘訣などを講義してくれるところもあります。推薦・AO入試の利用を考えているのなら、是非オープンキャンパスに参加したいですね。

※ 専門学校や私立大学は、夏休みのオープンキャンパス・講座等への参加を、受験料減免等の条件にしている場合があるので注意!

1・2年生の君へ

1・2年生は今何をすべきでしょうか? それは、次のようなことです。

- ① 基礎学力を付けておく。
- ② 部活動や資格・検定試験などにしっかり取り組む。

つまり、今できることを一生懸命することが、自分の将来の可能性を広げることになるのです。その上で、興味がわいた企業や上級学校について調べてみましょう。上に挙げた3年生向けの内容は、1・2年生で始めた方がよいことばかりです。進学を考えている人は、オープンキャンパスに参加してみるのもいいですね。夏休み、友達や家族、親戚と話をしながら、将来の自分を思い描いてみましょう。

勝負の夏。夢実現に向けて、全力を尽くそう!